

3 就業構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進

(1) 災害の件数が増加傾向にある 又は減少がみられない業種等への対応

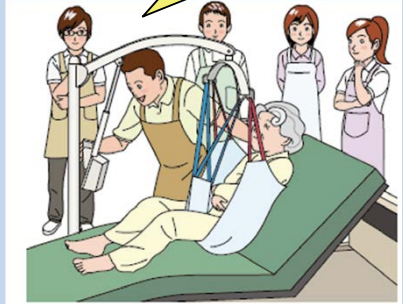
第三次産業対策

- ・企業単位での安全衛生管理の在り方について総合的な検討
- ・経営トップに対する意識啓発や「危険の見える化」、リスクアセスメントによる設備改善、KY活動等による危険感受性の向上のための働きかけに取り組む
- ・社会福祉施設における介護機器等の導入促進
- ・小売業・飲食店における雇入れ時の安全衛生教育の徹底 等

つまずいて、鉄板に
手をつき両手を火傷!



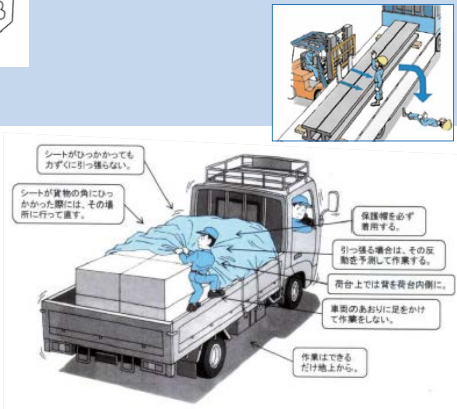
介護機器を使って
腰痛予防



社会福祉施設における安全衛生対策～腰痛対策・KY活動

陸上貨物運送事業対策

- ・保護帽の着用等基本的な安全対策の徹底。荷役作業に従事する労働者に対する安全衛生教育の在り方について検討
- ・国土交通省と連携し、荷主事業者に対し、長時間の荷待ち時間の削減や荷役施設・設備の改善等について支援を要請
- ・インターネット通販の普及で荷の取扱件数が増加傾向にあることを踏まえ、荷役作業の実態に即した対策の検討



転倒災害の防止

- ・4S（整理・整頓・清掃・清潔）、「危険の見える化」、作業内容に適した防滑靴の着用等の取組の促進等
- ・転倒災害を防止するための体操の周知・普及

腰痛の予防

- ・安全衛生教育の確実な実施の推進と介護機器の導入促進
- ・荷の積卸し等の定型的な重筋業務を行う場合に身体への負担を軽減する機械等の普及方策の検討



社会福祉施設における安全衛生対策～腰痛対策・KY活動

3 就業構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進

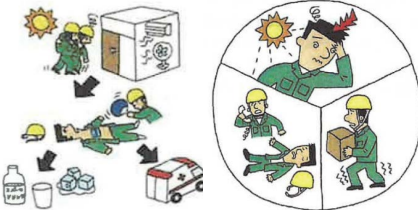
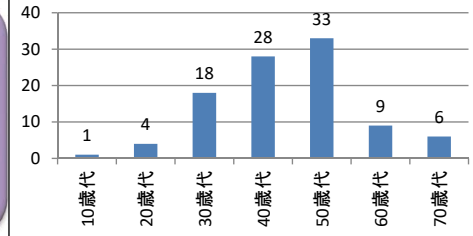
熱中症の予防

- ・ JISに適合したWBGT値測定器の普及とWBGT値の測定とその結果に基づき、休憩の確保、水分・塩分の補給、クールベストの着用等の必要な措置の推進
- ・ 熱中症予防対策の理解を深めるために、建設業等における先進的な取組の紹介や労働者等向けの教育ツールの提供

熱中症対策

- ① WBGT値（暑さ指数）の把握の準備
- ② 作業計画の策定
- ③ 設備対策の検討
- ④ 服装等の検討
- ⑤ 休憩場所の確保の検討
- ⑥ 教育研修の実施
- ⑦ 熱中症予防管理者の選任等

(人) 年齢別死亡者数(平成25～29年計)



クールベストの推奨 →



交通労働災害対策

- ・ 国土交通省と連携した交通労働災害防止のための教育の推進。
- ・ 警察庁と連携した業界団体への働きかけ

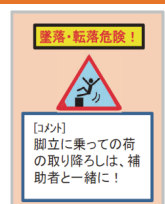
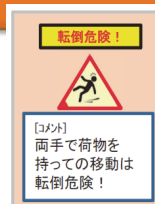
職場における「危険の見える化」の推進

- ・ 労働者の知識・経験の程度にかかわらず、安心して働ける職場を実現していけるよう未熟練労働者等が就労する事業場において、労働災害防止に関する標識、掲示等の普及を推進
- ・ 日本語の理解度に差のある外国人労働者においても同様の対策を普及

「危険の見える化」

「見える化」とは、危険を可視化して共有すること。KY活動で発見した危険のポイントを、「ステッカー」等を張り付けることで注意喚起します。

転倒、墜落・転落などのおそれがある箇所、慎重に行動することができます。



3 就業構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進

(2) 高齢労働者、非正規雇用労働者、外国人労働者及び障害者である労働者の労働災害の防止

高齢労働者対策

- ・ 高齢労働者に配慮した職場改善や筋力強化等の身体機能向上のための健康づくり等の取組事例の収集と安全と健康確保のための配慮事項の普及

非正規雇用労働者対策

- ・ 派遣労働者に関する雇入れ時の安全衛生教育や健康診断の実施などの把握とその結果を踏まえた必要な取組の検討 等

高齢労働者に配慮した職場改善事項



- ① 筋力の低下、不良姿勢への配慮
- ② 作業スピード、ペース等への配慮
- ③ 作業の継続時間への配慮
- ④ 事故防止への配慮
- ⑤ 生理機能低下への配慮
- ⑥ 安全性の確保・心理的ストレスへの配慮 等

外国人労働者、技能実習生対策

- ・ 関係府省と連携した外国人労働者を雇用する事業場に対する、安全衛生教育の実施、労働災害防止のための日本語教育等の実施、労働災害防止に関する標識・掲示、健康管理の実施等の徹底
- ・ 技能実習生への、外国人技能実習機構と連携した労働災害防止のための取組の推進

障害者である労働者対策

- ・ 障害者である労働者の労働災害防止や安全への不安を払拭するため、労働災害事例や安全上の配慮事項等の実態把握を行い、必要な対策を検討

個人請負等の労働者の範疇に入らない者への対応

- ・ 建設業における一人親方等については、建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画に基づき、その業務の特性や作業の実態を踏まえた安全衛生教育の実施など、必要な対応を検討

技術革新への対応

- ・ 人との協同作業を可能とする産業用ロボット等の、機能安全の基準や認証制度を検討
- ・ 信頼性の高い自動制御装置によって機械等を監視及び制御する安全対策の普及
- ・ AIやマンマシンインターフェースの開発に伴い、普及が見込まれるこれまでの産業用ロボットの定義に当てはまらないロボットの安全対策や安全基準・規格等を検討
- ・ AIやGPS技術の急速な能力向上により、近い将来において、工場等の産業現場においても自律的に作業を行う機械の導入が進むと見込まれるため、こうした技術革新を見越した上で、人と機械の安全な協働の方策等について必要な基準を検討
- ・ IoTやこれにより収集されたビッグデータを活用した労働災害の防止や労働者の健康確保に関する調査研究を推進